

人工内耳を装着された小学生のご両親様へ

音楽活動に参加しませんか？

暖かくなり過ごしやすい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

この度、**難聴者音楽感受研究所（洗足学園音楽大学）**の松本先生が研究調査を行うことになりました。人工内耳を装着されたお子さんを対象として音楽活動に定期的に参加できる小学生を募集しております。

日にちは、土曜または祝日等に実施する予定です。参加費用は不要です。

専門家の元でお子さんと一緒に音楽活動を楽しみましょう！

詳細は裏面をご参照ください。



音楽活動に関する研究調査ご協力をお願い

東京医科大学病院
耳鼻咽喉科教授／聴覚・人工内耳センター部長
河野 淳
一般社団法人 難聴者音楽感受研究所
理事長 松本祐二

各位

この度、人工内耳を装用された小学生を対象とした音楽活動に関する研究調査を行う事となりました。この調査にご協力を頂ける方を募集致します。調査内容は下記をご参照ください。よろしくお願い申し上げます。

【研究調査課題名】 人工内耳装用児の為の音楽感受向上法の研究 ～療法的音楽活動が与える影響～
(ローム ミュージック ファンデーション研究採択課題)

【目的】

人工内耳を装用されたお子さんに療法的音楽活動を行う事で、どのように音楽への興味関心が増し、音楽感受の向上が期待できるか、どのような療法的音楽活動が効果的かを調査致します。

【内容】

- ① 対象は人工内耳を装用された小学生とし、6名程度と致します。
- ② 調査は第1期と第2期に分け、第1期では各個人に対してのセッション（音楽活動）を行い、第2期ではグループ（基本的に全員）によるセッションを行う事を基本とします。
- ③ 第1期では一人各回20分～30分間、概ね隔週にセッションを実施し合計8回行います。楽器の音の聴こえ方や感じ方（音質・音程・和音・リズム等）を調査し、お子さんとに合った音楽活動を考え実施します。
- ④ 第2期では各回45分間、概ね月1回のセッションを実施し合計6回行います。他のお子さんと一緒に行われる療法的音楽活動によって、音楽による共感を得る事を目的とします。活動に使用する楽器は、ピアノ、打楽器（音程楽器含む）等を中心としたアコースティック楽器を使用します。
- ⑤ 各回実施の指導者は2名を予定しています。
- ⑥ 療法的音楽活動では、楽器演奏法の向上を目的とするものではなく、指導者の補助によりお子さんが自ら楽器を奏し音量や音質、音色をコントロールして音を作り出すことを目的とします。
- ⑦ 活動中及び前後におけるお子さんの行動や表情などの変化を記録します。

【実施予定日】

第1期 2016年5月～8月（土曜、祝日等を予定）、個人一回20分～30分間、全8回。

第2期 2016年9月～2017年2月（土曜、祝日等を予定）、グループ一回45分間程度、全6回。

※第1期と第2期両方へのご協力をお願い致します。

※開催場所等の詳細は、個別にご連絡致します。

【ご協力のお申し込み・お問い合わせ先】

一般社団法人難聴者音楽感受研究所
メール onkan.jp@gmail.com
FAX 050-1583-2520